

1. 総 説

1.1 設置目的

本学では平成16年4月に国際交流推進機構を設立し、担当理事のもとで国際交流協定校を増加させ、また留学生受け入れ数も少ないながら順調に伸ばしてきた。平成27年度で留学生の受け入れ数は210人にのぼり、過去最高となった。国際交流推進機構は平成20年度に国際交流センターとなり、平成23年度以降、日本語教育専任教員3名と、非常勤講師数名の体制で日本語教育事業に従事している。

センターの主な役割としては、留学生に対する日本語教育とともに、①国際戦略の策定、②広報および地域の国際化支援、③留学生支援、④日本人学生の海外留学支援、⑤国際交流教育が挙げられ、大学全体の国際交流がより組織的に、活発に行われるよう、専任教員を中心としてセンターが機能することが期待されている。

1.2 沿 革

- 平成20年 1月 教育研究評議会において学内措置としてセンターの設置が了承
- 平成20年 4月 センター発足 大学本部棟国際交流課にセンター長室を置き、センター長（兼任）、副センター長（兼任）の体制でスタート
- 平成20年 6月 専任教員（准教授）1名採用 教育文化学部内に研究室を借用
- 平成22年 4月 一般教育1号館に移動し、教員研究室2室、多文化交流ラウンジを新設
- 平成22年 8月 専任教員（准教授）1名採用
- 平成22年 9月 センター長室を新設
- 平成23年 4月 専任教員（助教）1名採用 専任教員3名体制
- 平成25年 3月 専任教員（准教授）1名退任
- 平成25年 4月 専任教員（助教）1名採用
- 平成26年 3月 専任教員（准教授）1名、専任教員（助教）1名退任
- 平成26年 4月 専任教員（助教）2名採用 専任教員3名体制